



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 192
March
2009

トピックス

メンバー国との防災協力推進

シンガポールとの共同プロジェクト：国際都市捜索救助トレーニング

ADRC客員研究員レポート

ムハマド・カ ril・ビン・アブ・アズィズ 研究員（マレーシア）

Asian Disaster Reduction Center
アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

●メンバー国との防災協力推進

シンガポールとの共同プロジェクト：国際都市捜索救助トレーニング

皆さん、こんにちは。私は、シンガポール市民防衛庁（SCDF）の市民防衛学院（CDA）でトレーニングを担当しているアーネスト・オンと申します。

第37回国際都市捜索救助トレーニングコースが、2009年1月5日から16日にかけて、CDAで実施されました。アジア防災センター（ADRC）から参加支援を受けたADRCメンバー国のブータン、カザフスタン、モンゴル、タイからの専門家4名は、オーストラリア、バングラデシュ、マカオからの参加者19名とともに、訓練に参加しました。

本コースは、各国からの参加者間で都市捜索救助に関する技能、専門知識などの相互共有および交流を主な目的としています。また、必要不可欠な捜索技術を学び、技術的なノウハウを獲得する以外にも、負傷者への対応、CISD（緊急事態ストレス・デブリーフィング）といった内容の講義にも力を注いでいます。このような知識についても学ぶことは、負傷者や救援者の今後のよりよい生活に直接的な影響を与えるため、大変重要です。

上記の講義の他に、中央消防署、災害援助救助チーム（DART）ユニット、救助犬ユニット、消防博物館、イノベーションランドへの訪問は、SCDFに対する理解を更に推し進めるものとなりました。

SCDFは、アジア地域における防災へ貢献するために、ADRCやADRCメンバー国との協力関係を更に推進していきたいと思っています。



Global Partnership
SINGAPORE CIVIL DEFENCE FORCE
Civil Defence Academy- 37th International Urban Search & Rescue Course
5 to 16 Jan 2009
Front Row (l to r): WO Jibhai (Cde Administrator, CDA), CPT Ernest Ong (Cde Administrator, CDA), LTC Lin Han Chee (Chief Instructor, CDA), CDA, Christopher Tan (Director, CDA), MA Lu Wang (CIC STRICKLAND, SWO Jany, Cde Instructor, CDA), SSG Edward (Instructor, CDA), Sec Row (l to r): Mr Anthony Richard Caynor (Australia), Mr A K M Shamsuzzoha (Bangladesh), Mr Mohd Anwarul Hossain (Bangladesh), Mr Leonard Mark Hill (Australia), Mr Akmal Ahsan (Australia), Mr Leung Chun (Macau), Mr Cho Yee Hoo (Macau), Mr Cameron Cribben (Australia), Mr Jeff McKeown (Australia), Mr Sven Christian Andersen (Australia), Mr Mohd Jaleel (Bangladesh), Mr Pravech Chiewthany (Bangladesh), Mr Eriendambatur Dugenev (Mongolia), Mr Luigi Corchiani (Australia), Mr Michael Kevin Parker (Australia), Mr Wong Wai On (Macau), Mr Lo Chio to (Macau), Mr Srinand Thabjanat (Thailand), Mr Michael Kevin Parker (Australia), Mr Wong Wai On (Macau), Mr Lo Chio to (Macau), Mr Mohd Khondker Md. Abdul Jalil (Bangladesh), Mr Andrew Lane (Australia), Mr Michael Geoffrey Burns (Australia), Not in Picture: Mr Tishewang Dendup (Bhutan), Mr Arman Karimbayev (Kazakhstan)

●ADRC客員研究員レポート**ムハマド・カ ril・ビン・アブ・アズィズ研究員（マレーシア）**

私はマレーシアから来たムハマド・カ ril・ビン・アブ・アズィズと申します。

マレーシアは329,847平方キロの国土に13の州と3つの連邦直轄領から成り、人口は約2,700万人です。首都はクアラルンプールですが、政府機関が集まる行政都市はプトラジャヤとなっています。

マレーシアは南シナ海によって半島マレーシアと東マレーシアの2つの地域に分かれており、タイ、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、フィリピンと隣接しています。マレーシアは赤道近くに位置し、熱帯気候帯にあります。マレーシア国家元首は国王（通常アゴンと呼ばれます）ですが、実際の政治は、首相を首班とした内閣が行っています。



私はコタキナバル国際空港にあるマレーシア気象局で課長補佐兼気象予報士としてモニタリング、予報、公共及び航空関係機関などへ気象警報などを発令することを職務としており、また気象関連の災害が発生した際および発生しそうな際には、防災委員会のメンバーに対して概要の説明や、調査や救助の為の気象情報の提供なども行っています。

海に囲まれた熱帯気候のマレーシアでもっとも多い災害は洪水で、北東モンスーンの時期（11月～3月）に起こるものがほとんどです。ボルネオ島のサバ州では、過去にフィリピンを通過した熱帯低気圧の影響で豪雨と洪水が発生し、甚大な被害をもたらされました。また、マレーシアは地すべり、鉄砲水、煙霧、森林火災などの災害が起こりやすい国でもあります。

私は2009年1月～6月までADRCの客員研究員として日本に滞在しています。この客員研究員プログラムは研究員達との情報共有や、防災に関する情報ネットワークを広げる機会を提供してくれます。ADRCや日本政府に対し、客員研究員としての機会を与えて下さったことに感謝いたします。この経験は、私の災害への知識や理解をさらに深めてくれるだけでなく、私や私の所属機関とマレーシアにある防災関連機関との協力関係を更に強化してくれることでしょう。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。